

総合教育臨床センターだより

2025年5月 第13号

サバティカル留学記

ーオレゴン大学で過ごした1年ー

佐藤 美幸（センター兼任教員 発達障害学科 准教授）



2024年4月から、サバティカル制度を利用してアメリカ・オレゴン大学Elizabeth Skowron教授の研究室に1年間留学した。主に、PCIT（親子相互交流療法）の効果検証方法とネットワーク分析の応用について研究を行った。日々の業務から離れ、PCITの研究の他にも統計の勉強をやり直したり、複数の研究者と共同研究の可能性について議論を重ねたりすることができた。また、政権交代の影響で研究費の支払いが突然止まるなど、思わぬ混乱も経験した。

留学生活では、文化や言語の違いに戸惑うことも多かった。特に英語の発音には苦勞し、たとえば”Locker”という簡単な単語すら通じないという経験もした。英語力がなかったとしても自分のプロジェクトを力強くアピールしないと実力を認めてもらえないというプレッシャーもあったが、現地の人々は皆温かく、大学関係者や研究仲間との交流を通じて、異文化の中でも安心して過ごすことができた。

休日にはカリフォルニア州にも足を運び、大谷翔平選手のホームランを現地で観戦するというアメリカならではの特別な体験もできた。また、オレゴン大学があるユージーンという街は陸上が盛んな町だったため、ランニングを始めてハーフマラソンにも挑戦することができた。

多くの学びと出会いに恵まれたこの一年は、自分の研究人生において大きな転機となった。サバティカルの機会を頂いたことに、心より感謝申し上げたい。



オレゴン大学



Elizabeth Skowron教授と

総合教育臨床センターと 保健管理センターの連携について

上床 輝久 (保健管理医、保健管理センター 教授)

保健管理センターでは、学生や教職員のみなさんが心身ともに健康に過ごせるよう、健康診断や応急処置、こころやからだの相談、生活習慣の見直し支援など、さまざまなサポートを行っています。最近では、こころの不調や学びに関する悩みを抱える学生が増えており、保健管理医(認定産業医・精神科専門医)が一人ひとりに寄り添った対応を心がけています。

保健管理医は総合教育臨床センターの教員も兼ねており、定期的な打ち合わせや個別ケースの相談を通して、大学や附属学校園全体で支え合う体制づくりを進めています。また、センター内の学びサポートチームの取り組みにも協力し、現場の声を取り入れた支援のあり方をともに模索しています。

これからも、学内のさまざまな部門や地域の専門機関と協力しながら、みなさんが安心して学び、働ける環境づくりを支えるセンターとしての役割を果たしていきます。



令和6年度 学びサポート室シンポジウム ご報告

3月1日、教育創生リージョナルセンター機構総合教育臨床センター学びサポート室主催によるシンポジウム「地域をはぐくむ！インクルーシブ教育の実践と展望」を藤森キャンパスにて開催し、128名の方にご参加いただきました。

シンポジウムでは、まず本学学びサポート室講師の伊藤駿氏からインクルーシブ教育の動向及び論点整理について説明を行い、続いて、京都府教育庁指導部の星川涼華氏、舞鶴市立中筋小学校校長の福井博教氏、根室市教育委員会教育長の波岸克泰氏より、インクルーシブ教育における先駆的な取り組みについて話題提供がありました。その後、同大学学びサポート室長の小谷裕実氏、講師の榊原久直氏を交えて意見交換を行いました。

参加者からは「登校することが楽しみという子どもが素晴らしい」「多くの現場の先生方に聞いてもらいたい内容でした」「そんなことができるんだと驚きだった」などさまざまな感想をいただきました。

今年度も多数のセミナー開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。



シンポジウムの様子

告知

2025年度
特別支援教育スキルアッププログラム

第1回 障害のある子への防災教育
講師 伊藤駿
(学びサポート室 講師)

日時 6月7日(土)10:30~12:00
場所 京都教育大学

お申込み方法や詳細はこちらをご覧ください





特別支援教育臨床実践拠点

	相談回数
自閉スペクトラム症	39
知的障害	1
A D H D	3
SLD	2
未診断	90
その他の診断	6
計	141

学びサポート室

	相談回数
自閉スペクトラム症	8
知的障害	0
A D H D	4
SLD	2
未診断	152
その他の診断	12
計	178

* 学びサポート室は、外部での相談は除く

新規受付相談数

特別支援教育臨床実践拠点

	受付数
自閉スペクトラム症	6
知的障害	0
A D H D	0
SLD	3
未診断	8
その他の診断	1
計	18

学びサポート室

	受付数
自閉スペクトラム症	4
知的障害	0
A D H D	2
SLD	1
未診断	21
その他の診断	9
計	37

令和6年度 京都教育大学 附属学校園 スクールカウンセラー相談件数

桃山地区スクールカウンセラー (岩瀬佳代子)

附属桃山中学校・附属特別支援学校担当 [年40回派遣]

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	39	20
延べ相談件数	191	90

桃山地区スクールカウンセラー (中井裕子)

附属高等学校担当 [年30回派遣]

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	23	38
延べ相談件数	57	54

桃山地区スクールカウンセラー (金子真理子)

附属桃山小学校・附属幼稚園担当 [年39回派遣]

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	27	18
延べ相談件数	44	59

京都地区スクールカウンセラー (荒井久美子)

附属京都小中学校担当 [年68回派遣]

	来談者 カウンセリング	教職員 コンサルテーション
実相談件数	54	47
延べ相談件数	280	193

令和6年度 教育臨床心理実践拠点 公開講演会ご報告

2月15日(土)、藤森キャンパスにて「多文化を生きる子どもの心理臨床的援助」についての公開講演会を開催しました。近年、教育現場では、外国にルーツを持つ児童・生徒が増えています。本講演会では、関西の小中学校や警察の少年サポートセンターなどでカウンセラーとして活躍されたご経験を持つ、藤田恵津子氏(公立鳥取環境大学 教授)を講師にお迎えしました。多文化の中で生きる子どもたちを取り巻く環境、就学や心理面への支援、そして彼らのライフコースについて学ぶ、大変貴重な機会となりました。

今年度は、他のテーマでも公開講演会の開催を予定しています。



おしらせ

発達相談のお申込み方法

子どもの発達・教育相談を行っています。あらかじめ電話でお申込みください。

【補足】附属学校園へ所属されている方は、学びサポート室での対応となります。受付窓口は同じですので、「附属学校へ所属しています」と申込時にお伝えください。

電話番号 075-644-8354

(月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く)

※祝祭日、夏季休業・冬季休業中は除く

心理相談のお申込み方法

附属学校園の幼児・児童・生徒およびその保護者の方を対象に、個人・家族・学校などの悩みや困った問題について**心理的援助**を行っています。どうぞお気軽にご連絡ください。

(発達相談については学びサポート室へのお申込みとなります)

予約制となっておりますので、あらかじめ電話でお申し込みください。

電話番号 075-644-8354

(月曜～金曜午前10時～午後3時 ※午後0時30分～1時15分除く)

※祝祭日、夏季休業・冬季休業中は除く

※新規お申し込みは火曜から金曜の間に受付を行います。

※「発達相談」と共通の受付電話番号となっておりますので、最初に「心理相談を希望」とお伝えください。

※「心理相談」は京都教育大学附属学校園の関係者以外のご相談はお受けできませんのでご了承ください。

総合教育臨床センター

センター長(センター専任教員) 相澤 雅文 (教授)

学びサポート室長(発達障害学科併任教員) 小谷 裕実 (教授)

センター専任教員

鈴木 英太 (講師)、榊原 久直 (講師)、門下 祐子 (講師)、伊藤 駿 (講師)

センター兼任教員

田爪 宏二 (教育学科・教授)、西村 佐彩子(教育学科・准教授)、

牛山 道雄 (発達障害学科・教授)、丸山 啓史 (発達障害学科・准教授)、

佐藤 美幸 (発達障害学科・准教授)、上床 輝久 (保健管理センター・教授)

